

平成31年  
国際交流支援報告会(ダナン工科大学)

# ワークショップ報告会

村の再開発計画

JAPAN-VIETNAM WORKSHOP

- 1.開会 (石川恒夫)
- 2.ワークショップ報告 (鈴木・中・中野目・有可・佐藤・平柳)
- 3.総括 (学長：星和彦)

# ワークショップ°報告

# 全体スケジュール

2月28日	ダナン到着
3月1日	現地調査
	班分け・ワークショップ
3月2日	石川先生レクチャー・学生発表
	ワークショップ
3月3日	ワークショップ
	発表・講評・送別会
3月4日	ホイアン見学
	空港

# ダナン工科大学 (DUT)



# レクチャー・研究紹介



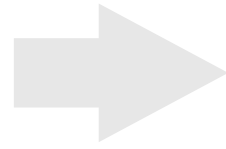
ワークショップテーマ・課題

# 対象敷地



# 現状

経済成長  
人口増加  
都市化現象



住宅形態が更新



第1期



第2期



第3期



## 三間形式

## 新三間形式

## チューブ形式

大きい前庭を持つ平屋

小さい前庭/2・3階建

木材柱 + レンガ壁構造

レンガ造

RC柱 + レンガ壁構造

主な燃料と水源がたきぎ、藁と井戸

主な燃料と水源が  
ガスと水道

キッチンが家の外に

キッチンが家の中に

寝室空間ははっきりと分けられない

プライバシー重視の空間

# 第1期 (三間形式) 1975以前



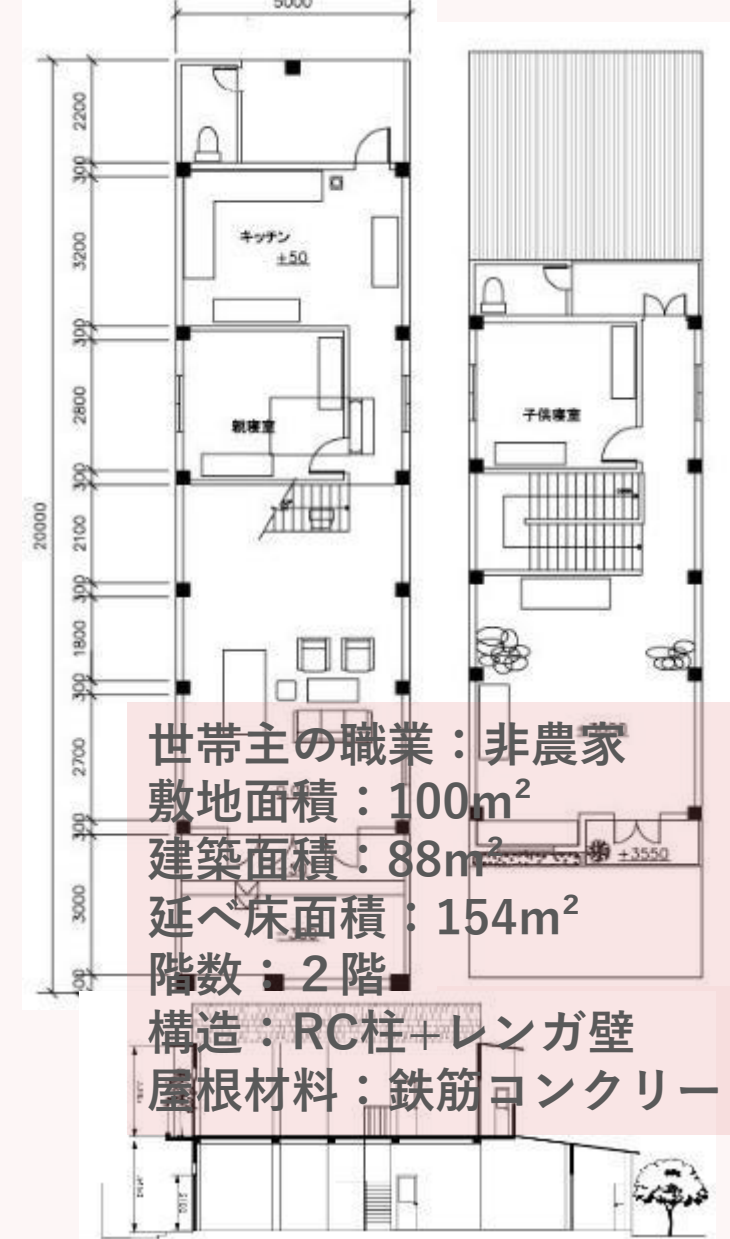
世帯主の職業：農業  
敷地面積：1281m<sup>2</sup>  
建築面積：134m<sup>2</sup>  
階数：1階  
構造：木材柱+レンガ壁  
屋根材料：瓦

# 第2期 (新三間形式) 1975-1999



世帯主の職業：農業  
敷地面積：548m<sup>2</sup>  
建築面積：87m<sup>2</sup>  
階数：1階  
構造：レンガ造  
屋根材料：金属、一部が瓦

# 第3期 (チューブ形式) 2000年以降



世帯主の職業：非農家  
敷地面積：100m<sup>2</sup>  
建築面積：88m<sup>2</sup>  
延べ床面積：154m<sup>2</sup>  
階数：2階  
構造：RC柱+レンガ壁  
屋根材料：鉄筋コンクリート

# 設計課題

これからベトナムの農村建築はどう変わればいいのか



## 敷地調査





作業風景

